

学びも仕事も趣味も、

柔軟に取り組める

マルチステージの人生へ

従来の「人生のステージ」の考え方が、今、大きな変化を迎えています。

「教育を受ける期間」から「仕事をする期間」、そして「引退後の余生」という単線的なライフステージから、自分や社会の状況・ニーズに合わせて、学びも仕事も趣味も、柔軟に取り組めるマルチステージの人生へ。

同じく、日本の高度成長を支えてきた社会システムもまた、大変革に直面しています。変わりゆく社会と人生の関係性を学んで、これからの「じぶん」と「まち」の関わり方を一緒に考えてみませんか？

地域共生社会× 人生100年時代

をどう生き抜くか
考えるシンポジウム
in えべつ

参加費
—
無料

日時場所

2020年 **1/19** 日 13:00-16:00 (12:30受付開始)
江別市コミュニティーセンター
〒067-0013 江別市3条5丁目11-1 / JR江別駅から徒歩2分

プログラム

【基調講演1】13:05-13:55(50分)

人生は夕方から楽しくなる

～これからの社会の変化とワーク・ライフ～



講演者

野沢和弘氏

一般社団法人スローコミュニケーション代表/
元毎日新聞論説委員)

1983年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局(名古屋)、東京社会部、夕刊編集部長等を歴任。社会部ではいじめ、ひきこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などを担当。論説委員を11年務め、2019年10月に退社したばかり。現在はスローコミュニケーション代表、植草学園大学客員教授を務めながら、講演活動等により会社員時代に輪をかけて全国を飛び回っている。

【基調講演2】14:05-14:40(35分)

地域共生社会と『じぶん』

～全国の事例から学ぶ～

講演者

野崎伸一氏

厚生労働省大臣官房総務課広報室長
(併)社会・援護局地域共生社会推進室 参与

東京都出身。1999年厚生省入省。児童家庭局、米国留学、医政局、障害保健福祉部、外務省出向、健康局などを歴任し、2016年社会保障担当参事官室政策企画官室長補佐、2018年に生活困窮者自立支援室長を務め、2019年7月より現職。「地域共生社会」のコンセプトづくりや政策立案に関する省内の総括の傍ら、全国に足を運び、地域づくりの実践に学ぶ日々を送る。2児の父。

【説明】14:40-14:50(10分)

テーマ:

「江別版『生涯活躍のまち』構想の推進について」

岡本収司氏

社会福祉法人日本介護事業団 生涯活躍のまち担当部長

【座談会】15:00-16:00(60分)

「これからの『学ぶ』『働く』を
みんなで考えてみる。」

コメンテーター

野沢和弘氏、野崎伸一氏

コーディネーター

大原裕介氏

(社会福祉法人ゆうゆう理事長)

実際に「学び直し中」
の方や自分に合った「働く」
「活動する」を見つけて人生を謳
歌している地域の方々からお話
しを伺い、地域での活躍の可
能性や意義を考えます!

会場周辺マップ



江別市コミュニティーセンター

〒067-0013 江別市3条5丁目11-1 (JR江別駅から徒歩2分)

●申込方法:下記いずれかの方法でお申込みください。 ※席数に限りがございますので、早めの申込をおすすめします。

メール

下記申込書の項目内容を、メールに記載してください。
記載事項:①氏名(ふりがなつき) ②年齢 ③お住まいの市町村 ④連絡先(メールアドレスまたは電話) ⑤参加人数

kojo@yu-yu.or.jp

(社会福祉法人ゆうゆう事務局 担当:古城)

電話

0133-22-2896

(社会福祉法人ゆうゆう)

WEB申込フォーム

告知ページ

(<https://forms.gle/NQKfkcGJn8f4kNfX7>) に
アクセスして、申込フォームからお申込みください。



FAX

下記項目にご記入後、
右記の番号にFAXをしてください

送信先FAX番号

0133-23-0811

ふりがな		年齢	お住まいの市町村	
氏名			参加人数	名
連絡先	※メールアドレスまたは電話			